

---

# 第2次稲敷市総合計画策定に係る 市民意向調査 結果報告書

## <概要版>

---

- 
- 1. 調査概要 .....p1
  - 2. 市の住み心地などについて .....p4
  - 3. 市の取組について .....p8
  - 4. 回答者について .....p11
- 

令和4年3月



# 1. 調査概要

## (1)目的

第2次稲敷市総合計画後期基本計画(令和6年度から令和9年度)を策定するにあたり、市民意向を把握し、計画に反映する上での基礎資料とするために実施した。

## (2)調査方法

### 【配布方法】

- ・郵送による配布・回収
- ・WEBサイトでの回収

### 【回答者数】

標本数(抽出段階): 3,000 票

標本数(回収段階): 2,989 票

回収数: 1,277 票(紙回収 906 票、WEB 回収 371 票)

回収率: 42.7%

有効回答票: 1,276 票

有効回答率: 42.7%

## (3)アンケート項目

1. 市の住み心地などについて		
問 1	住みやすさ	4
問 2	定住意向	5
問 3	感染症対策において最も重要だと思う市の対策	6
問 4	SDGsの認知度	7
2. 市の取組について		
問 5	現在の満足度について	8
問 6	今後5年間の重要度について	9
3. 回答者について		
問 7	性別	11
問 8	年齢	11
問 9	職業	11
問 10	居住地区	12
問 11	居住年数	12
問 12	自由意見(市の暮らしについて)	13

#### (4)アンケート結果概要

### POINT 1 p4

住みやすいと感じる人は

38.3%



▶30代、70代以上が特に住みやすいと感じる人が多い。

住みにくいと感じる人は、

14.7%

### POINT 2 p5

市に住み続けたいと  
思っている人は

63.3%



▶地区別では、東地区が66.6%と定住意向が最も多い。

住み続けたくないと思っ  
ている人は、

11.1%

### POINT 3 p6

COVID-19に対する最も重要な市の対策は

1位「ワクチン接種※」

39.3%



※ワクチン接種や検査の実施体制の確保

2位「正確な知識や適切な  
情報の迅速な提供」

3位「中小企業や市民への  
経済支援」

POINT 4 p7

SDGs の認知具合は



36.4%

▶10代~50代は認知度がほぼ均等。

SDGs を知らなかった、  
聞いたことがない人は、

22.2%

POINT 5 p8

満足度が高いのは

1位「保険・医療」



34.9%

2位「子育て支援」



32.9%

3位「安心・安全」



30.4%

POINT 6 p8

今後5年間で重要度が高いのは

1位「保険・医療」



38.5%

2位「子育て支援」



38.5%

3位「公共交通」

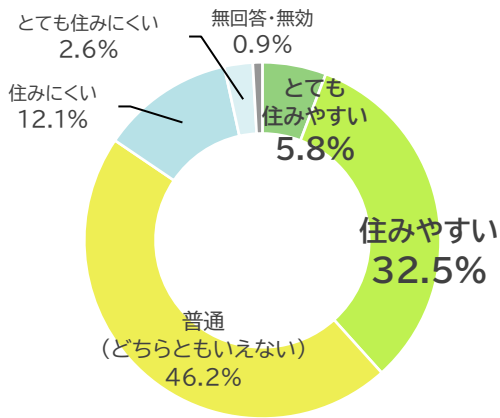


36.4%

1位と2位が重要度・満足度を  
共に満たす結果になっている

## 2. 市の住み心地などについて

### 問1 市の住みやすさ



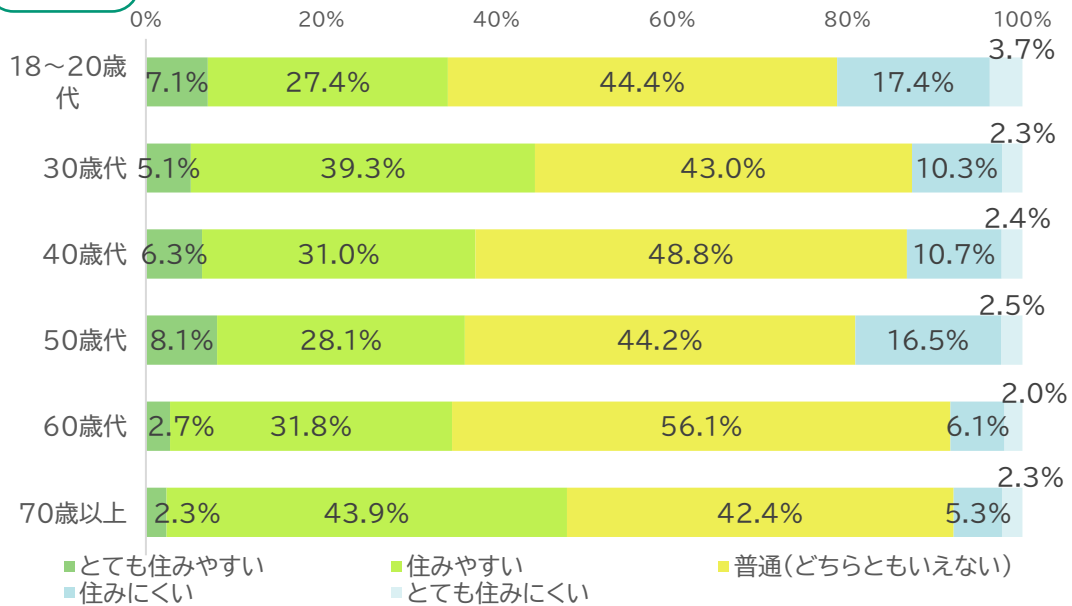
「とても住みやすい」「住みやすい」をあわせて住みやすいと感じる人が **38.3%**

年代別にみると、「住みにくい」「とても住みにくい」が最も多いのは18～20歳代。

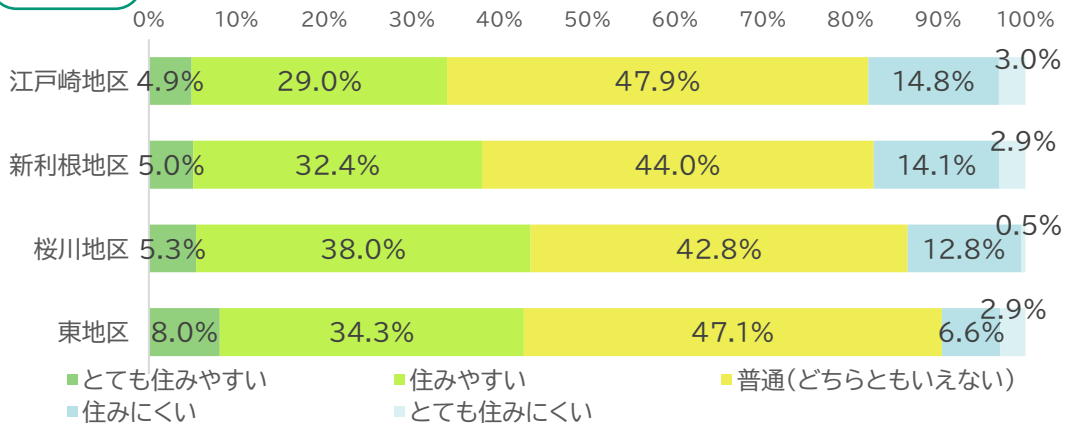
「住みやすい」が最も多いのは70歳以上。

地区別にみると東地区の「住みにくい」の割合が他地区と比較して少ない。

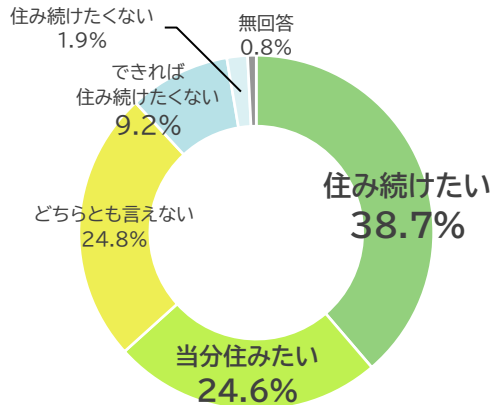
#### 年代別



#### 地区別



## 問 2 定住意向

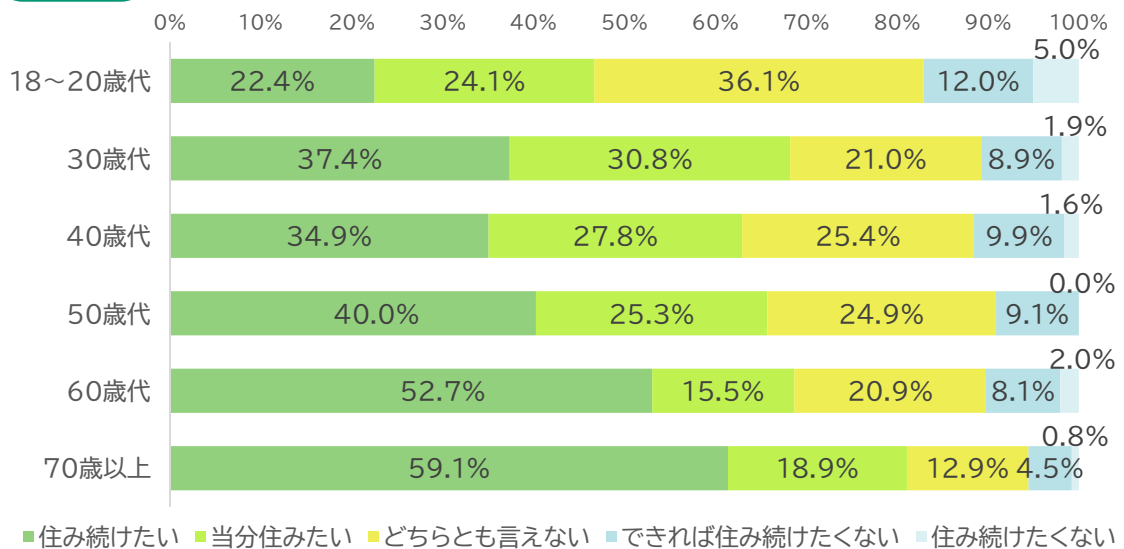


「住み続けたい」「当分住み続けたい」をあわせて、住み続けたいと思っている人は**63.3%**

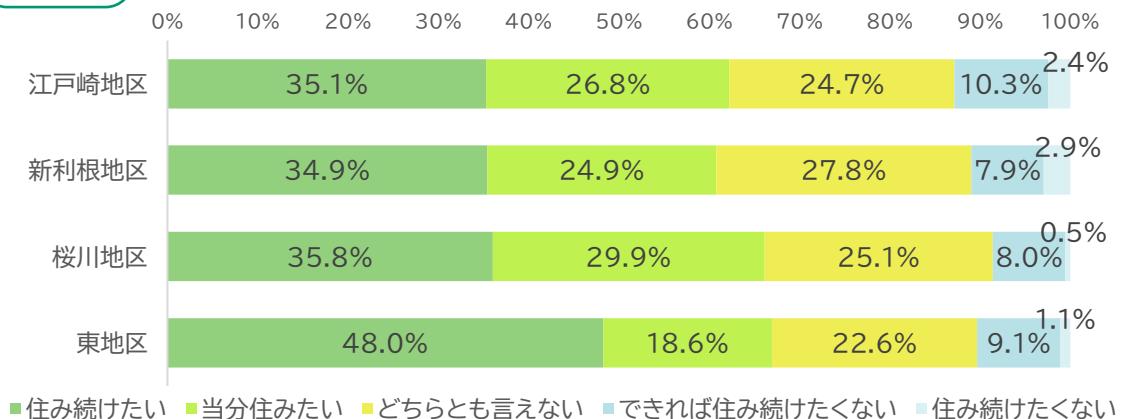
地区別にみると東地区は 50%弱が「住み続けたい」と回答している。

次いで、桜川地区、江戸崎地区、新利根地区の順で住み続けたい割合が多い。

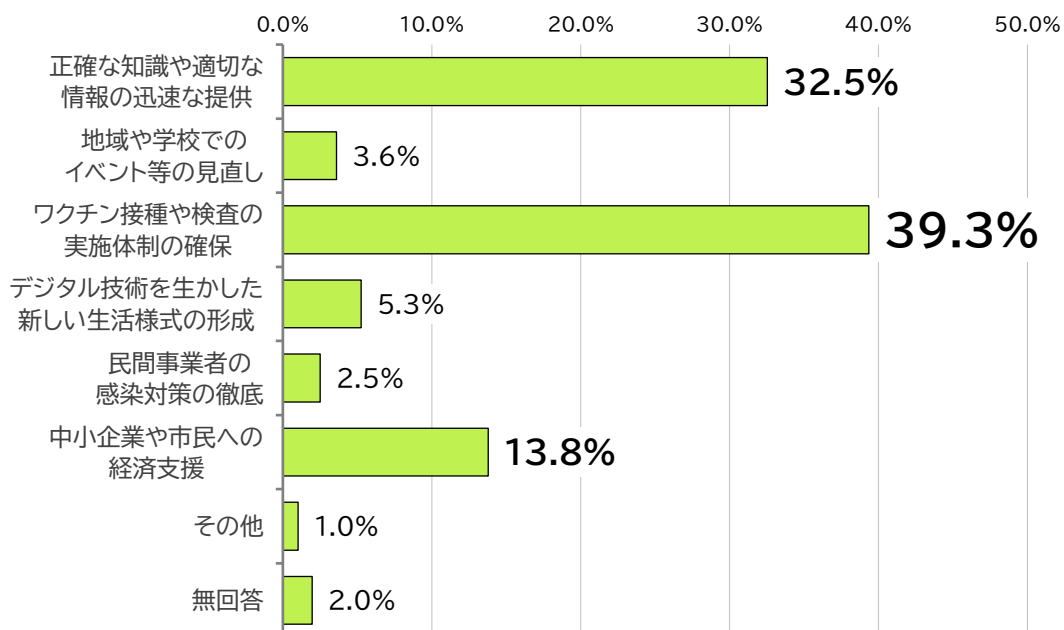
### 年代別



### 地区別



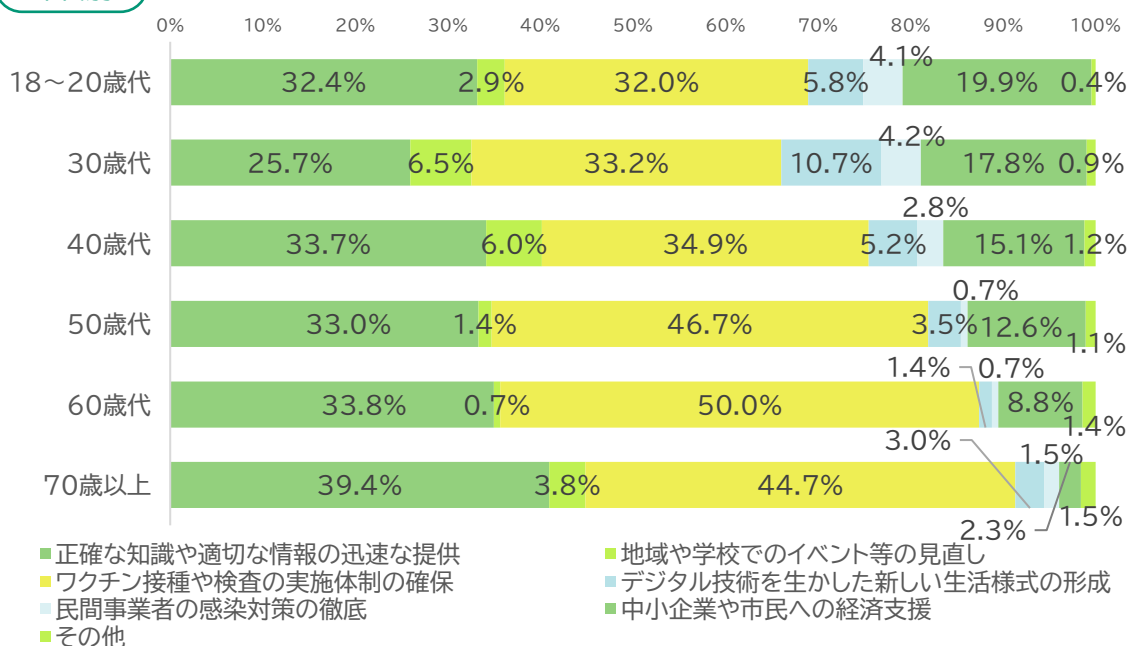
### 問3 新型コロナ感染症対策において最も重要だと思う市の対策



#### その他のご意見

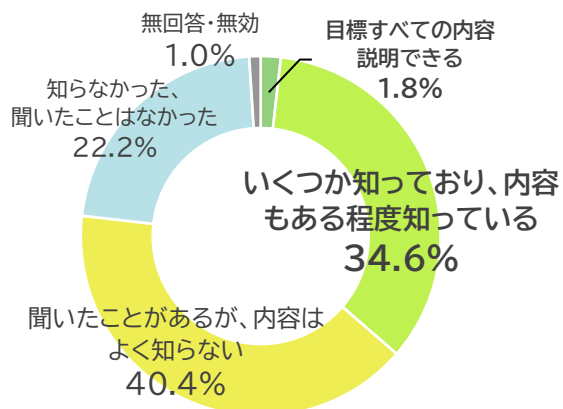
- ・迅速な医療体制の確立、感染後の対応
- ・感染経路の解析・正確な認識
- ・感染症対策の徹底(マスク・アルコール消毒等)
- ・生活困窮者や学生への経済支援をして欲しい
- ・商業施設・ゴルフ場の感染対策の徹底をして欲しい
- ・ワクチン接種に関する偏見や差別を無くしてもらいたい 等

#### 年代別





## 問4 SDGsの認知度

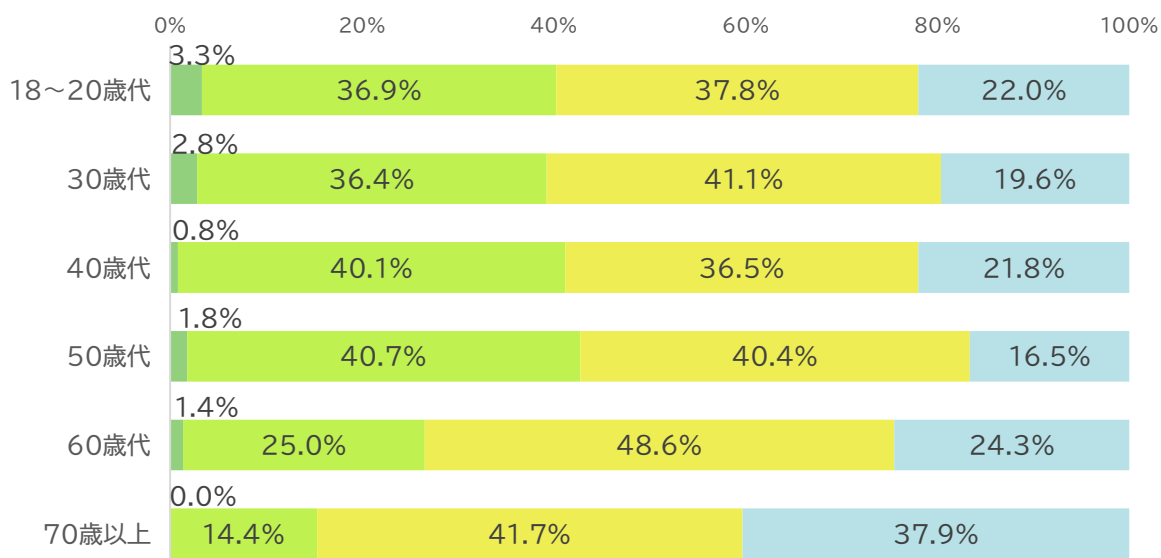


・SDGsは「目標すべての内容を説明できる」と「いくつか知っており、内容もある程度知っている」を足した概ねの内容を知っている人は、

**36.4%**

・年齢別にみると50歳代まではほぼ均等に認知されている。60歳以上は、認知度がやや低い。

### 年代別

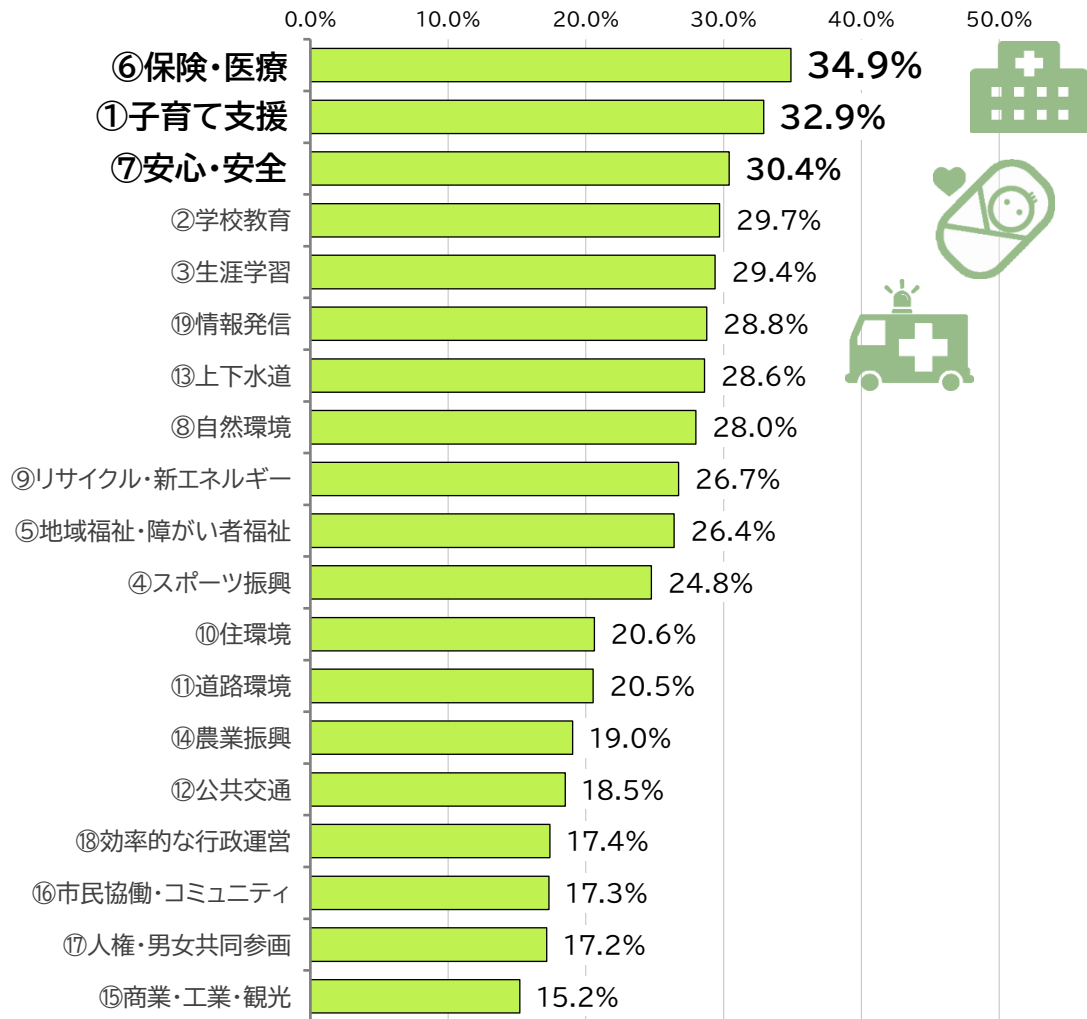


※無回答・無効は省略

- 17の目標をすべて知っており、内容を説明できる
- いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている
- SDGsという言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
- SDGsという言葉を知らなかった、聞いたことはなかった

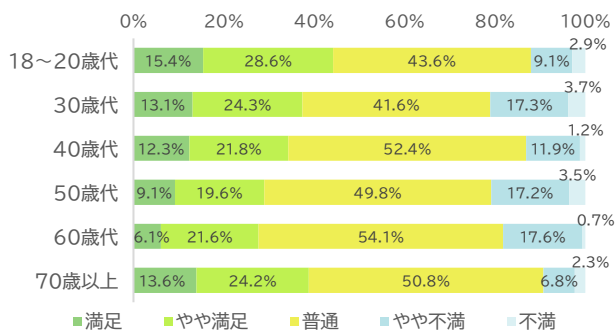
### 3. 市の取組について

#### 問5 現在の満足度

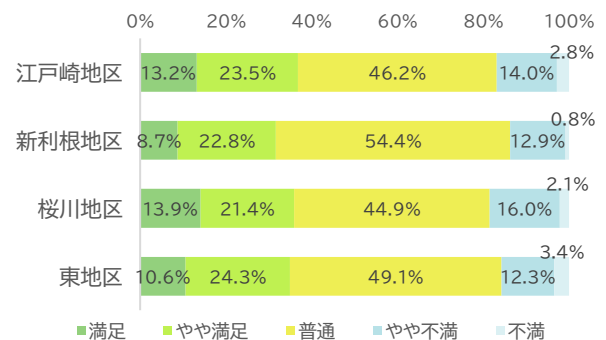


※無回答・無効は省略

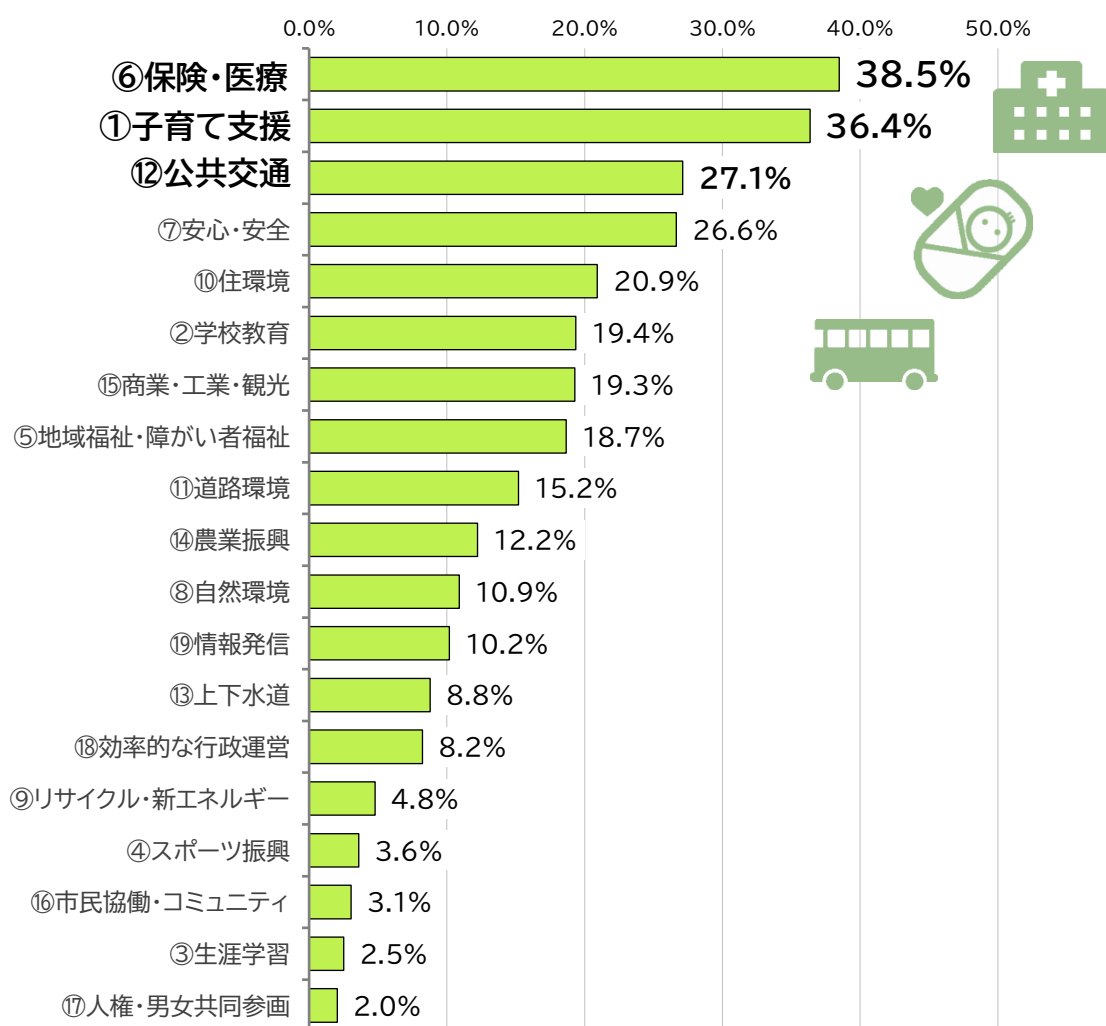
#### 年代別 ⑥「保険・医療」の満足度の割合



#### 地区別 ⑥「保険・医療」の満足度の割合



## 問 6 今後5年間の重要度



※無回答・無効は省略

### 年代別順位

▶30歳代では「学校教育」、60歳代以上では「安心・安全」なども重要性が高くなっている。

	1位(%)	2位(%)	3位(%)
18～29歳	①子育て支援(52.3)	⑥保険・医療(36.5)	⑫公共交通(28.6)
30歳代	①子育て支援(56.5)	⑥保険・医療(38.3)	②学校教育(34.6)
40歳代	⑥保険・医療(34.5)	⑫公共交通(32.9)	①子育て支援(30.6)
50歳代	⑥保険・医療(36.8)	①子育て支援(29.5)	⑫公共交通(29.1)
60歳代	⑥保険・医療(43.2)	⑦安心・安全(30.4)	⑩住環境(27.0)
70歳以上	⑥保険・医療(47.0)	⑦安心・安全・⑫公共交通(同率 30.3)	

## CS グラフ(満足度・重要度)

・満足度が高く・重要度が高い(=市の強み)のは

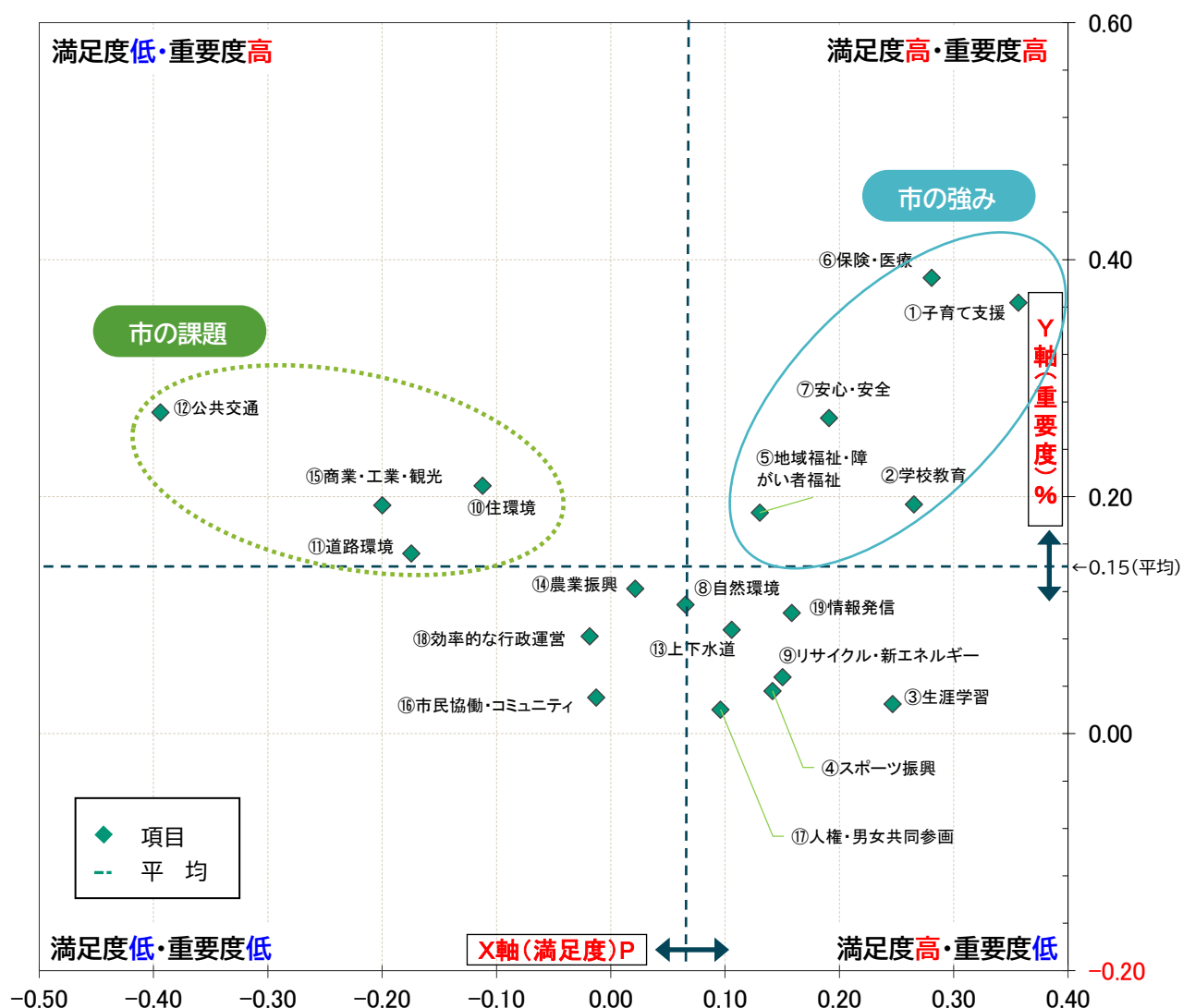


「保健・医療」「子育て支援」「安心・安全」「学校教育」「地域福祉・障がい者福祉」の5つ。  
今後も継続して取り組むべき項目となっている。

・満足度が低く・重要度が高い(=市の課題)のは

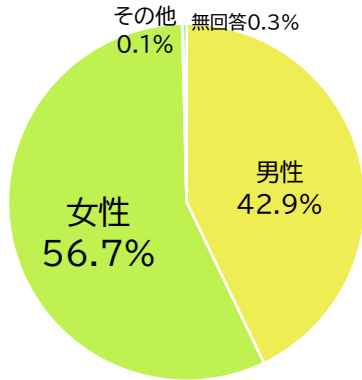


「公共交通」「商業・工業・観光」「住環境」「道路環境」の4つ。  
優先的に改善すべき課題の項目となっている。



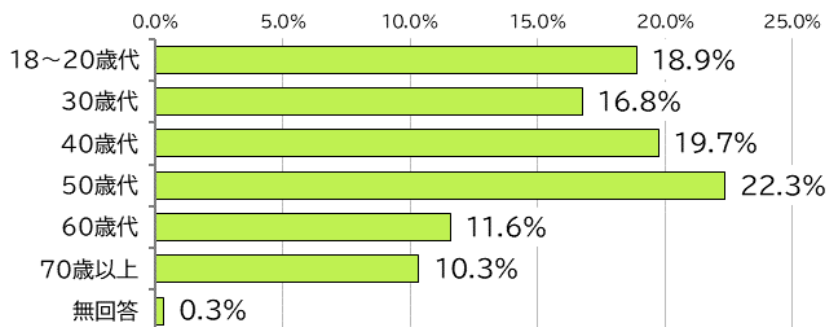
## 4. 回答者について

### 問7 性別

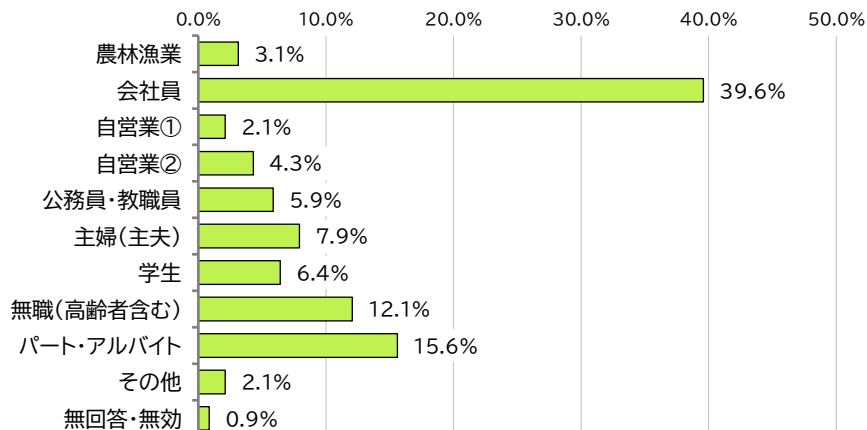


- ▶女性が 56.7%とやや多い。
- ▶50 歳代の回答が 2 割を超えている。  
60 歳～70 歳以上は1割程度と少なくなっている。
- ▶中高年に加えて、若い世代の回答者も多い傾向。

### 問8 年齢

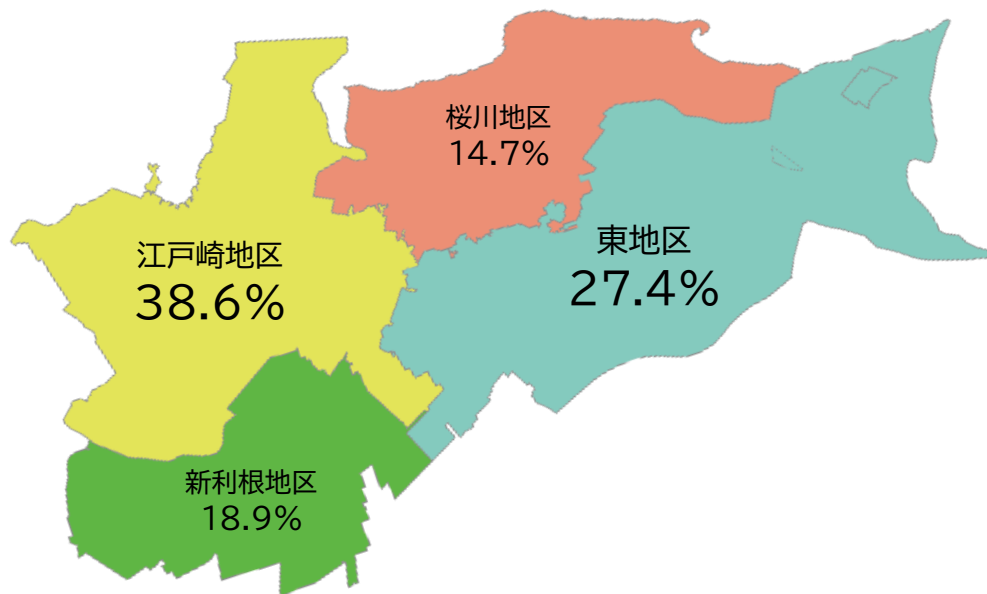


### 問9 職業

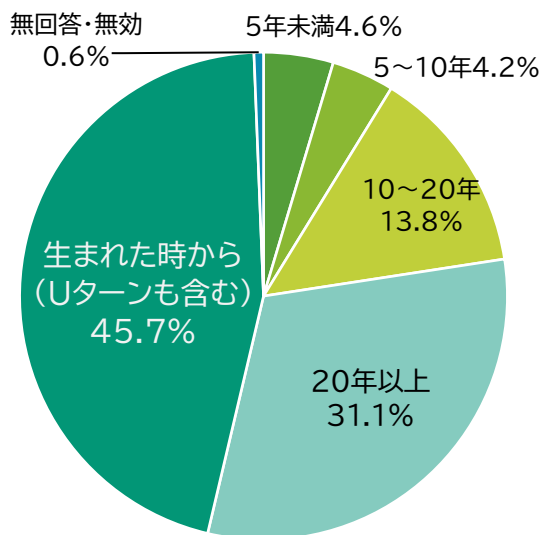


自営業①: 製造・建設業、自営業②: 商業・サービス業

問 10 居住地区



問 11 居住年数

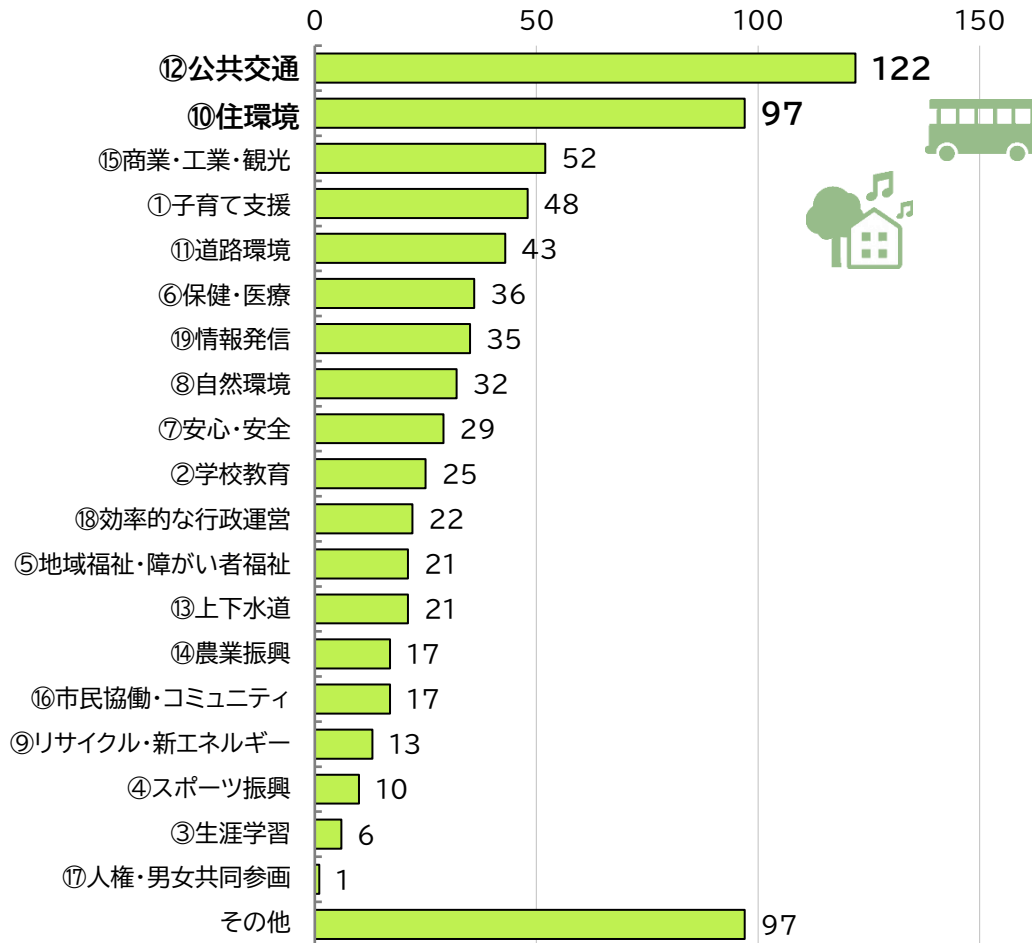


・居住年数が「生まれた時から」「20年以上」  
合わせての回答者が約**77%**

## 問 12 市の暮らしについての自由意見

▶自由意見を、問5の市の取組の分類により、集計すると「公共交通」「住環境」についての意見が多くなっている。

▶どちらも満足度・重要度のCS分析で「最優先課題」の項目となっている。



※複数の項目にわたる意見は重複して集計



### 主な意見

- ▶利便性が悪く、公共交通の充実を求める意見が多い。
- ▶鉄道敷設を求める意見も多い。
- ▶学生の通学制限と送迎の負担など。
- ▶高齢化で免許返納した場合の交通手段の危惧など。



### 主な意見

- ▶空地・荒れ地、空家が増加しているという意見が多い。
- ▶生活環境の充実（道路・公園）や騒音問題、野焼き・ゴミ焼却対策など。
- ▶大型商業施設や日用品購入店の立地など利便性を求める意見が多い。

---

第2次稲敷市総合計画策定に係る市民意向調査  
結果報告書<概要版>

発行 令和4年3月 稲敷市

---